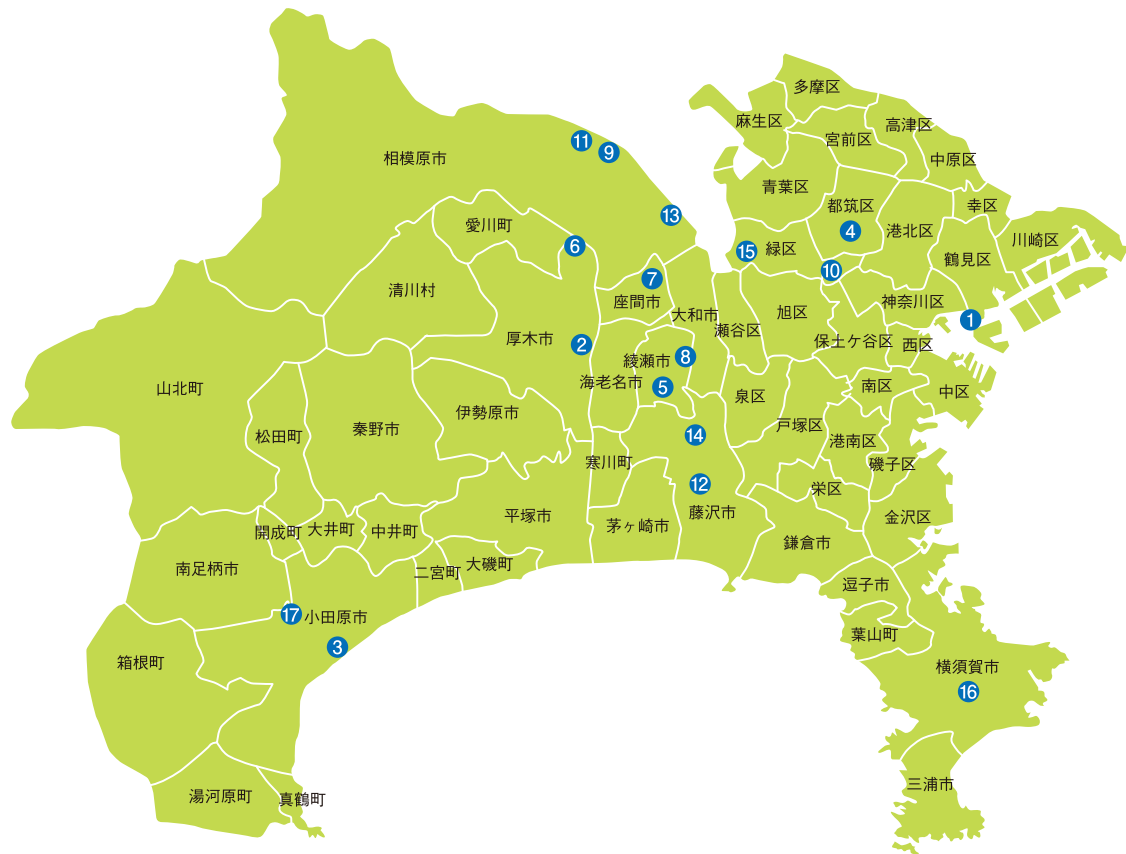


神奈川県内の「中核充てん所」は17カ所あります。



神奈川県LPガス中核充てん所一覧

- | | | |
|---|---|---|
| ①横浜液化ガスターミナル株式会社
横浜市鶴見区大黒町12-14 | ⑥株式会社トーエル 厚木充填所
厚木市上依知2924 | ⑫ミライフ株式会社 藤沢基地
藤沢市大庭8150-1 |
| ②伊藤忠エネクスホームライフ関東株式会社
神奈川支店
厚木市金田1321 | ⑦株式会社エネサンス関東 座間事業所
座間市小松原1-10-27 | ⑬三ツ輪産業株式会社 関東中央支店
相模原市中央区東淵野辺4-16-25 |
| ③株式会社古川
小田原市寿町1-2-32 | ⑧日通商事株式会社 横浜LPガス事業所
綾瀬LPガス充填所
綾瀬市深谷上8-17-28 | ⑭株式会社イワサワ 藤沢ガスセンター
藤沢市遠藤2001-1 |
| ④株式会社ファインエナジー 横浜営業所
横浜市都筑区東方町1698 | ⑨ミライフ株式会社 相模原基地
相模原市中央区下九沢1096 | ⑮レモンガス株式会社 横浜支店
横浜市緑区三保町593-1 |
| ⑤ENEOSグローブエナジー株式会社
神奈川支店
綾瀬市吉岡東3-8-39 | ⑩株式会社マルエイ 横浜支店
横浜市緑区上山1-3-2 | ⑯株式会社サガミ
横須賀市衣笠町45-19 |
| | ⑪北日本物産株式会社 相模原営業所
相模原市緑区西橋本3-11-7 | ⑰株式会社ホームエネルギー
西関東小田原センター
小田原市久野3761-1 |



公益社団法人 **神奈川県LPガス協会**

〒231-0003 神奈川県横浜市中区北仲通3丁目33 共済ビル別館
TEL:045-201-1400 FAX:045-201-9810



公益社団法人 **神奈川県LPガス協会**



神奈川県 LPガス中核充てん所

LPガス中核充てん所とは… 一万一の災害時への **大きな備え**

LPガスは国の「エネルギー基本計画」で、エネルギー供給の“最後の砦”と位置づけられています。
中核充てん所は、災害が発生したとき、地域のLPガス流通の“中核”を担う充てん所です。

中核充てん所には、災害時にも自立的に稼働できるよう
◎非常用発電設備 ◎緊急用通信設備 ◎LPガス自動車 etc.
が配備されています。

充てん所とは、LPガスを容器に充てんする設備を有する基地で、全国に約2,200カ所あります。
そのうち「中核充てん所」に指定されているのは全国で344カ所、神奈川県では17カ所が指定を受けています。

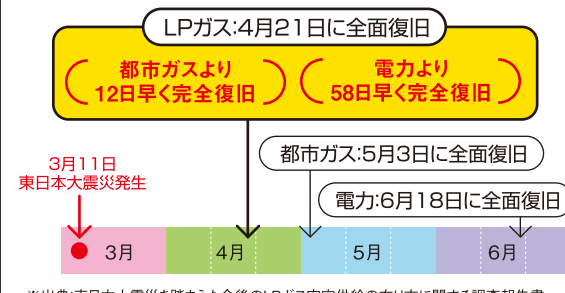
私たちは、万一の災害時に備え、万全の体制で訓練を行っています。

「中核充てん所」誕生エピソード

1. すべては東日本大震災から

東日本大震災において、LPガスが災害時に強いエネルギーであることが証明されました。

●東日本大震災におけるライフラインの復旧状況



2. LPガスの有用性に熱い視線

被災後、避難所の炊き出しや仮設住宅の炊事用燃料としてLPガスが大活躍。病院や老人福祉施設などでも利用が広がりました。災害時に強い分散型のエネルギーとして、LPガスが脚光を浴びました。

3. 浮き彫りになった課題を解決へ

東日本大震災では、電力の喪失により出荷機能が稼働せず供給不能となる事態が多発。通信設備も機能せず、情報の収集や共有が困難になる事態も発生しました。こうした問題の解決に向け、中核充てん所では非常用発電設備の確保や緊急通信設備、LPガス自動車などを配備しています。



知って欲しいエネルギーのお話。

災害時に強いエネルギー、それは「LPガス」。

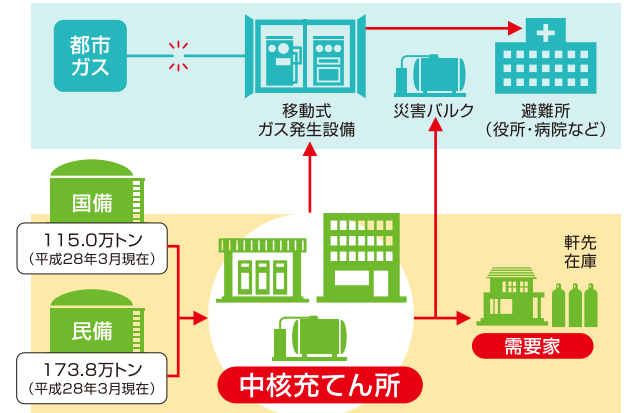
LPガスの有効性を高めるため、神奈川県では17カ所のLPガス充てん所が災害時対応型中核充てん所に指定されています。



「中核充てん所」の役割と義務

LPガス事業者が、中核充てん所に指定されて国からの補助を受けた場合、一定の役割と義務を負うことになります。災害時における供給の継続に必要な自家発電設備や衛星携帯電話等を補助金の活用で配備するとともに、石油備蓄法に基づく「災害時石油ガス供給連携計画」及びそれに基づく訓練への参画が義務づけられています。

●都市ガス供給エリア



●LPガス供給エリア

より信頼されるLPガスを目指して

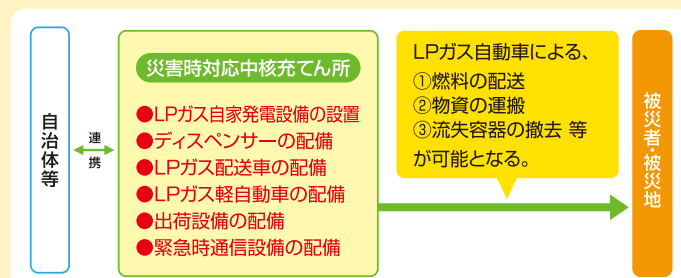
中核充てん所が神奈川県をはじめ全国に整備されたことで、より災害時対応力の高い社会インフラの整備が期待されています。こうした業界の取り組みを推進すると同時に、LPガスの保管状況の点検や安全な使い方の周知徹底が重要となります。「情報収集伝達訓練」と「稼働訓練」にぜひご理解ください。

災害時に迅速かつ的確な対応を

中核充てん所に指定されたLPガス事業者は、災害に備えさまざまな訓練を行っています。

災害時情報収集伝達訓練

地域別に行われる「災害時情報収集伝達訓練」。関東ブロックでは平成25年より活動が行われています。災害時におけるエネルギー供給の“最後の砦”であるLPガスが地域住民を守るため、地方自治体との連携確認や対応方法等について訓練を行っています。



中核充てん所等稼働訓練

各都道府県別に行われる「中核充てん所等稼働訓練」。情報収集伝達訓練に加え、非常用電源の切り替えや容器へのガス充てん、避難所炊き出し訓練など、災害時に必要とされる活動をシミュレーションします。

